

[情報公開]

自己点検・自己評価 結果

自己点検・自己評価 点検表

大項目	中項目	評価項目	令和元年度 平均値
I 教育理念・教育目的	・法的整合性と独自性他4項目	6	3.0
II 教育目標	・教育理念・目標との一貫性他4項目	6	2.9
III 教育課程経営	・教育課程経営者の活動他7項目	28	2.8
IV 教授・学習・評価過程	・授業内容と教育課程との一貫性 看護学としての妥当性 授業内容間の関連と発展他3項目	17	2.8
V 経営・管理過程	・設置者の意思・指針他7項目	19	2.6
VI 入学	・入学者選抜の考え方と教育理念・教育 目標との一貫性他3項目	4	2.9
VII 卒業・就業・進学	・進路選択の状況と教育理念・教育目的 との整合性他1項目	4	2.4
VIII 地域社会／国際交流	・地域社会と交流するための体制他1項目	7	2.3
IX 研究	・教員の研究的姿勢の涵養他1項目	3	1.7



「評価尺度」

1：当てはまらない（課題に全く取り組んでいない） 2：やや当てはまる（課題に1つでも取り組んでいる）
3：当てはまる

自己点検・自己評価の取組み

本校では、平成 24 年度から厚労省の「看護師養成所の教育活動等に関する自己点検・自己評価指針」をもとに学校自己評価を開始しております。その結果、いくつかの課題が明確になり当該課題に取り組み活動して参りました。

令和元年度、既設の看護学科 2 年課程を看護学科 3 年課程への課程変更、令和 2 年度のリハビリテーション学科（理学・作業療法学科）を新設。更なる学校運営、教育活動についての改善を図り、教育水準の向上のために組織的・継続的に取り組み、質の高い医療従事者の養成に努力して参ります。

令和元年度 総評

令和元年度、新たにスタートした看護学科はアドミッションポリシー 5 項目を掲げ、教育目的並びに本学科の特徴を明示した学生募集に関し、評価結果及び評価委員より高い評価をいただきました。

一方、初年度入学生は定員の 40 名を充足いたしました。更なる入学者の開拓、入学区域拡大に努めるよう意見をいただいております。

次年度以降、当法人の事業計画としてリハビリテーション学科（理学・作業療法学科）を新設いたします。多職種連携をカリキュラムに取り入れ、函館及び道南地域における地域医療の担い手、医療福祉を支える専門職養成校として、共に教育内容や教育環境の質向上を期待する意見をいただいております。